

アリマスガ爲ニ、癩ノ療養所ノ支所ヲ設ケテ戴キタイト云フ希望モ、縣民ノ方カラ申出テアッタノデアリマスガ、然ルニアノ縣モ私ノ鹿兒島縣ト同ジヤウニ、縣ノ財政狀態ガ餘程行詰ツテ居ルノデ、此經費ハ大部分國費ノ方カラ負擔シテ戴クヤウニ交渉ガアッタサウデアリマス、其結果縣トシテハ經費ノ大部分ヲ縣竝ニ關係ノ町村デ持ツヤウニシテ、ソレカラ國ノ方カラモ若干ノ補助ガアルヤウナ方法ヲ以テ、仕事ニ取掛ツタケレドモ、丁度經濟界ノ不況ニ際會致シマシテ、ソレガイケナクナッタト云フヤウナコトヲ承ツテ居リマス、又熊本ノ療養所ヲ此際擴張スルト云フイ所ノ府縣ハ、非常ニ重イ負擔ヲセンケレバナラヌ狀況ニアリマスルノデ、是等ノ擴張ニモ多大ノ困難ヲ伴フト云フコトヲ豫想致シテ居リマス、ソレデスル事情デアリマスカラシテ、私ハ日本全國中一番癩患者ノ多イ——鹿兒島沖繩、熊本等不思議ニ南九州ノ方面ガ多イト云フノハ、可ナリ土質ニ原因ガアリハセヌカト云フコトヲ信ジテ居ル一人デアリマス、是等ニ付キマシテハ、中央官廳ヨリモ遠隔ノ地ニアルガ故ニ、是等ノ調査研究ナルモノガ遅レ勝ニ憂ヘル者デアリマス、以上ノ理由ヲ以

テ、甚ダ手前勝手ノ話デアリマスガ、本法案ガ通過ノ上、其實施ニ當リマシテハ、明カリ私ガ申上グタ通リニ、縣部分ヲ縣竝ニ關係カラ餘程困トカ町村ハ其負擔ノ關係カラ、幸ヒ國ノ方デ岡山ト草津ニ御設置サレタコトハ結構デアリマスケレドモ、何ヲ申シテモ一番多い處ニ救濟ノ途ヲ構ジラレルノガ、正當且公平ナ處コトモ、ヤハリ御同様吾々癩患者ノ多申シマスト、一番多い處ハ後廻シニシテ居ラレル態度ハ、私共ドウモ合點ガ行カヌ點デアル、是ハ否味ヲ申上ゲルシテ、第一期計畫ト云フノハ、聯合府県ノ療養所ヲ漸次擴張致シテ、五千人ノ收容ニ達スルマデスルノデアリマスガ、只今ノ所ハ三千人餘リヲ收容シテスルト云フ、第一期計畫ガ目下進行中居ルノデアリマス、五千人收容ノコトガ完了致シタ後ニ於キマシテモ、尙ホアト一人マスガ、九州方面ニ對シテハ、今マデスルコトハ、今日ノ聯合府縣トシテスルコトハ、斯ウ云フ點ニ向ツテ直チニ研究調査ヲ進メラレ、國立ノ療養所ヲ設置シ

○赤木政府委員 癩ノ分布ガ氣候ノ溫度ハ、明カリ私ガ申上グタ通リニ、縣部分ヲ縣竝ニ關係カラ餘程困ト思ツテ居リマス、其御趣旨ニハ大掛ツタケレドモ、何ヲ申シテモ一端デアリマス、幸ヒ國ノ方デ岡山ト草津ニ御設置サレタコトハ結構デアリマスケレドモ、何ヲ申シテモ一番多い處ニ救濟ノ途ヲ構ジラレルノガ、正當且公平ナ處コトモ、少シク努力スレバ容易ニ之ヲ全滅スルコトガ出來ルト存ジテ居リマス、只今ノ計畫ト致シマシテハ、所謂第一期計畫ト云フモノヲ持ツテ居リマシタガ、何ヲ申シテモ一端デアリマス、幸ヒ國ノ方デ岡山ト草津ニ御設置サレタコトハ、甚ダ遺憾ト存ジテ居リマス、ドウシテモ其全滅ヲ圖ルコトガ根本デアルト考ヘテ居リ、又癩患者ノ總數カラ考ヘマシテモ、少シク努力スレバ容易ニ之ヲ全滅スルコトガ出來ルト存ジテ居リマス、只今ノ計畫ト致シマシテハ、所謂第一期計畫ト云フモノヲ持ツテ居リマシタガ、何ヲ申シテモ一端デアリマス、幸ヒ國ノ方デ岡山ト草津ニ御設置サレタコトハ、甚ダ遺憾ト存ジテ居リマス、ドウシテモ

○永田委員 只今ノ御趣旨ハ能ク分リマシタガ、大體府縣ガ負擔ヲシテ約全患者ノ半數ヲヤツテ行カレル計畫ノヤウニ承づテ居リマス、其他ノ約半數ハ、將來國家ノ力デ撲滅ヲ期セラレルト云フコトデ、洵ニ結構ナル御計畫ト存ジマスガ、九州方面ニ對シテハ、今マデスルコトデ、淘ニ結構ナル御計畫ト存ジマスガ、九州方面ニ對シテハ、今マデスルコトハ、第一期計畫ガ目下進行中各縣ガ聯合デヤツテ居リマスガ、前述ノ通リ一番患者ガ多イノデアリマスカラ、多少今ノ計畫等ニ於キマシテモ、ト云フコトハ——一番多イ本場ニナイト云フコトハ、斯ウ云フ點ニ向ツテ直チニ研究調査ヲ進メラレ、國立ノ療養所ヲ設置ガナイト云フコトハ、遺憾ニ堪ヘマセヌカラ、

是等ヲ御考慮ノ上、速ニ國立療養所ヲ
九州方面ニ設置セラレンコトヲ、重ネ
テ御願致シテ置キマス、一面地方民衆
ハ、動モスルト結核或ハ癩ノ如キモノ
避スル者ガアリハシナイカト思ヒマス
ガ、是等ハ大ナル誤解デアリマスカラ、
患者ノ多イ者ニハ、サウ云フモノヲ希
望シテ、早ク是ガ撲滅ヲ圖ッタ方ガ最モ
適切ダト思フノデアリマス、多少南九
州ニサウ云フ誤解モアルト思ヒマス
ガ、國ノ體面カラモ、國民保健カラモ、
亦色々ノ仕事ノ能率ノ上カラ考ヘマシ
テモ、重大ノ問題カト存ジマスカラ、
私ハ敢然此問題ニ向ツテ突進スル者デ
アリマス、是等ノ問題ノ解決ニ付テ當
局ノ深甚ナル御同情ト御援助ヲ俟ツテ、
是ガ撲滅ヲ期シタイト思ツテ居リマス
カラ、重ネテ御願申上ゲマス

コノ家ハ血統ガ悪イト云フコトヲ言ハ
レルト、ソレガ爲ニ其縁談ハ成立タヌ
ト云フヤウナ悲慘ナ事情ガ澤山アル、
中ニハ何時頃癩病ノ人ガアッタト云フ
ト、ソレハ分ラヌケレドモ、其家ガ少
シ財産ガ出來テ、名聲ガ舉ガルコトニ
ナツテ來ルト、サウ云フ流言蜚語ト云ヒ
マスカ、ソレガ信ゼラレテ、其爲ニ縁
談ノ邪魔ニナルコトガ隨分アルノデア
リマス、私ハ素人デチトモ分リマセ
ヌガ、所謂癩病ト云フモノハ、ドウ云
フ性質ノモノデアルカ、別ニ政府委員
デナクテモ、此中ニ御醫者ガ居ラレマ
スカラ、其方カラ誰デモ宜シイガ、一體癩ト
ハドウ云フ性質ノモノデアルカト云フ
御話ヲシテ戴キタイ、私ハ布畦ノ「モ
ロカイ」島デ癩病患者ノ爲ニ勵イタ「ダ
ミエン」ト云フ人ノ傳記ヲ書イタモノ
ヲ持ツテ居リマスガ「モロカイ」島ノ狀
況ヲ見ルト、斯ウ云フコトガ書イテア
ル、是ハ事實デアルカ、併セテ御説明
願ヒタイ、之ニ書イテアル癩病島デ
引取ツテコツチデ世話ヲシテヤル、病
院モアレバ、色々設備ガ皆アルガ、
學校ダケハナイ、子供ハ「ボノル、」
ニヤツテ學問スル、年ニ一回親ニ會ハ

セル、併シ握手サセタリシナイト云フ
コトニスルト、癩病患者ト癩病患者ト
ノ子供ガ、コンナ奇麗ナ子供ガ出來ル
カト思フト云フヤウナコトガ之ニ書イ
テアル、日本デハ遺傳ト云フコトヲ信
ジラレテ居ルガ、近頃ノ學說デハ遺傳
デハナイ、傳染ダト云フコトヲ聞イテ
居リマスガ、サウ云フコトヲハッキリ知
リタイノデス、ソレカラ氣候トノ關係
今言フ九州トカ沖繩縣トカ云フ處ニ、
癩病ノ分布ガ多イト云フ、氣候ト是ガ
ドウ云フ關係ガアルカト云フコトト、
合セテ癩病ト云フモノガ、私分リマセ
ヌノデ、其性質ヲ御説明願ヒタイト出
ヒマス

傳染病デアルト云フコトヲ、能ク徹底
セシムルヤウニ國民ニ知ラシメタイ、
斯ウ云フ考ヲ持テ居リマスノデ、昨年
デゴザイマシタカ、癩ト云フモノハド
ウ云フモノデアルカ、癩ニ對シテハド
ンナ施設ヲヤツテ居ルカト云フコトヲ、
極ク簡單ナ「パンフレット」ヲ作リマシ
テ、ソレヲ癩患者ノ居ルヤウナ家庭ニ
配布致シマシタ所、其後ソレヲ見テ初メ
テサウ云フモノデアルカト云フコトヲ
知リマシテ、療養所ニドウカ入レテ貰
ヒタイト云フ希望ヲ、自ラ申出ル者ガ
非常ニ多イト云フヤウナ狀況、デアルノ
デアリマス、是ハ從來癩ト云フモノハ、
成ベク觸レナイヤウニ、ソットシテ置ク
ト云フヤウナコトデ、十分徹底シナカッ
タカト思ヒマスガ、今後モ癩ト云フモ
ノニ對スル國民ノ知識ノ啓發ト云フコ
トモ致シタイト思ツテ居リマス、今回設
立致サレマスル所ノ癩豫防協會等ニ於
キマシテモ、サウ云フコトヲ考ヘテ居
リマシテ、是等ヲ協會ノ仕事トシテ致
シタイト云フコトニナツテ居ルノデア
リマスガ、尙ホ學術的ノコトニ付キマ
シテハ、專門家ノ技師ノ方カラ御説明
申上タイト思ヒマス

ハ傳染病デアッテ、遺傳病デナイト云フ
コトヲ承知シテ居ル次第アリマス、
只今ノ「ダミエン」ノ例ノヤウナモノ
ガ日本ニ於テモ長ク觀察シテ居リマ
ス間ニ屢々遭遇スルノデアリマシテ、
癩ノ傳染說ハ今更考へナクテモ宜シイ
デアラウカト思ハレルノデアリマス、
併シ長イ間ノ迷信ト申シマスカ、サウ
云フ風ニ一般ノ人ガ考込ンデ居ル次第
デアリマスカラ、之ヲ啓蒙致シマシテ、
癩ノ傳染說ヲ能ク納得セシムルコト
ガ、此癩豫防事業ノ第一ノ運動デアル
カト考ヘテ居ル次第アリマス、遺傳
的關係ノモノガ絶對ニナイカト云フ點
モ、多少研究ノ餘地ガアルノデゴザイ
マスガ、癩療養所長ノ中ノ一人ガ、癩
ノ體内感染ト云フコトガ時ニアリハ
シナイカト云フコトデ、癩ノ母親カラ
生レマシタ、ソレモ直グ死亡致シマシ
タ者ヲ、頻ニ檢微鏡デ検査シマシテ、
シテ議論シテ居ルノモゴザイマスガ、
其胎兒ニ癩菌ト覺シキモノヲ見タコト
ガアルト云フコトデ、之ヲ色々論據ニ
シテ、布哇ノ例ノミデナク、日本ニ於
キマシテモ、例ヘバ大阪ノ療養所ニ於
キマシテ、開所以來癩ノ親ノ生ミマシ

タ子供數十名ニ付テ、能ク其成行キヲ
觀察シタ所ガ、其約半數程現ニ生キテ
居ルノデアリマスガ、全部健康デ育ツテ
居ル次第デアリマス、ソレハ生レマス
ト、直グ親ヲ引離シタ患者デアッテ、暫
ク親ト一绪ニ置イタモノ、中ニハ、發
病シタ者ガ多少アルノデアリマスガ、
直グ隔離致シマシタモノデハ病菌ガ出
マセヌ、ソコノ點カラ考ヘマシテモ、
體内感染ト云フモノモ、是ハ假ニ起リ
得ルニ致シマシテモ、極メテ稀ナモノ
デアッテ、癩豫防ノ實際運動ニハ顧慮シ
ナイデモ宜イ、非常ニ重要視シナイデ
モ宜イ點デハナイカト思ヒマス、尙ホ
癩ガ溫暖ノ地ニ多イコトハ事實デゴザ
イマスガ、是ガドウ云フ感染ノ成立チ
ト關係ヲ持チマスノカ、其點ハ餘程明
カデゴザイマセヌ、事實ニ依リマシテ、
寒キ地ヨリ暖キ地ニ於テ癩病ガ多イト
云フコトハ、日本ノミデハゴザイマセ
ヌデ、大體ニ於テ癩病ハ暖イ處、寧ロ熱
帶ニ段々分布ノ狀態ガ増シテ居ルヤウ
ニ存ジマス

明シテ戴キマシテ、私トシテモ非常ニ
大キナ知識ヲ得タヤウニ存ジマス、ソ
レニ付テハドウモ今マデ日本ニ遺傳ダ
ト云フ說ノアル爲ニ、實ニ悲慘ノコト
ガ社會ニ多イコトヲ見テ、此儘ニシテ
抛ツテ置クベキ問題ヂヤナイト思フ、非
常ニ是ハ大切ナ問題ダト思フノデス、
ソレデ今衛生局長サンカラノ御話デ、
宣傳ハ大ニヤルト云フコトデゴザイマ
シタガ、ドウカ唯ムヅカシイ「パンフ
レット」ヲ出スト云フコトヂヤナシニ、
近頃ハ政府デモ「ボスター」ヲ盛ニ使フ
テ居ラレルヤウデアルガ、有ユル方法
ヲ以テ國民ニ此知識ヲ普及サセルヤウ
ニ、宣傳方面ニ付テ、最善ノ注意ヲ以
テ、大膽ナル計畫ヲ以テヤッテ貫ヒタ
イ、サウスレバ國民ノ幸福ヲ増スコト
非常ナモノダラウト思ヒマス、ソレカ
ラモウ一つ、第一期、第二期ノ計畫ニ
依ツテ、全滅ノ見込ガアルト云フ最前ノ
御話ニアリマスガ、サウナルト非常ニ
愉快ナコトデアル、伊太利デ十七八年
掛ツテ全滅シテシマッタ例ガアルト云フ
コトヲ聞イタコトガアリマスガ、日本
ニ私ハ感ジテ居リマスガ、前ニ御話ニ
デモ全滅ガ出來ルト云フコトニナレ
バ、非常ニ面白イト思フ、サウ云フ風
ニ私ハ感ジテ居リマスガ、前ニ御話ニ
ナツタ第一期計畫五千人、第二期計畫二
萬人ヲ收容スルト云フ計畫ニ付テ、モ
ウ少シ私ハハツキリ知リタイノデアリ

マス、何デモ半分ハ地方費、半分ハ國家ノ費用デヤルト云フ御方針ノヤウデスカラ、第一期ノ五千人ハ全部地方費デヤルノデスカ、サウシテ第二期ハ全部國費デヤルト云フコトヲ——是ハハツキリ言明スル域ニハ達シテ居リスマイガ、衛生局長個人ノ御考デモ宜シイカラ伺ヒタイ、ソレカラ來年ノ豫算ニ載ツテ居ル群馬縣草津ノモハ、第二期ノ一部分デアリマスカ、別ニ責任ヲ問フヤウナ問題デハアリマセヌカラ、能ク分ルヤウニ丁寧ニ御説明ヲ願ヒマス

居ル譯デハアリマセヌ、唯私共ノ腹積
リデ、第二期計畫ノ一端トシテ、國費
デヤル療養所ヲ設ケルト云フ考デ、草
津ノ豫算ヲ要求シテ居ル次第デアリマ

ス

○松山委員 此處ニ長島愛生園ノ圖面
ダケヲ今拜借致シマシタガ、此愛生園
ハ第二期ノ中ニ入ルノデアリマスカ、
勿論豫算ヲ要求シテ居ラレル譯デハナ
イノデアリマスカラ、何デアリマセウ
ガ、私共癩撲滅ノ大體ヲ了解スル上ニ
於テ、御差支ナケレバ御説明ヲ願ヒタ
イト思ヒマス

ノ地方ノ千島ノ方へ持ッテ行クトカ、北
ノ島ノ方へ持ッテ行クト云フヤウナコ
トニ付テ、御計畫ト云フカ、調査デモ
シタコトガアリマスカ

○赤木政府委員 瘰ノ療養所ヲ設ケル
場所トシマシテハ、寒イ處ハ不適當デ
アリマシテ、此病氣ハ成ベク暖カイ處
ト云フコトガ、病人ノ苦痛ヲ減ズル上
カラモ必要デアリマス、隨テ千島ノヤ
ウナ寒イ處ハ不適當ノヤウニ存ゼラレ
マスノデ、サウ云フ方面ハ調査シタコ
トハアリマセヌ

○松山委員 私ノ郷里ハ高野山ノ麓デ

ガ、一日モ早ク完成スルコトガ急務デ
アリマシテ、之ヲ完成スレバ、アノ地
方ノ浮浪患者ハ一掃スルコトガ出來ル
ト思ヒマス

○松山委員 先程申シマシタ事情ニ依
リ、癩患者ノ悲惨ナ話ヲ私共郷里デ聞
クノデアリマス、例ヘバ大阪ノ相當ナ
家ノ人ガ癩病ニナツテ、ソレガ居テハ家
族ガ迷惑スルト云フノデ、行衛不明ニ
ナツタ、ソレデ高野山ニ來テ物貰ヒニ
ナツテ居ル、時ニハ夜竊ニ家へ歸ツテ來
テ、家族ト會ツテ——是ナドモ隨分危險
ナ話デ「モロカイ」島ノ話ヲ聞キマシテ

○赤木政府委員 大阪ノ療養所ハ、嘗テ泉州北郡デアリマスカ、泉州北郡ニ敷地ヲ求メテ、此處ニ移轉ヲスルト云フ計畫ヲ立テマシタノデアリマスルガ、其地元ニ非常ニ反対ガアリマシテ、其爲ニ當時移轉ト云フコトガ行惱ンダノデアリマス、爾後色々敷地ヲ求メテ居リマスルケレドモ、適當ナ場所ガ得ラレマセヌデ、今日マデニナツテ居ルノデアリマスガ、一方懶ノ收容設備ガアノ地方ニ於テハ特ニ其爲ニ不足ヲ致ス、其結果ト致シマシテ、大阪、和歌山、近畿地方ニ、今日御話ノ如ク尙ホ多數

○赤木政府委員 長島ノ愛生園ハ差當リ四百人收容ノ設備デアリマスガ、是ハ實ハ擴張シテ五百人ニ致シマシテ、五百人マデハ第一期計畫ノ一部分ニナツテ居ルノデアリマス、詳細ニ申シマスレバ、聯合府縣ガ四千五百人、國立ノガ五百人デ五千人ガ完成スル譯デアリマス、但シ長島ハ將來五百人ダケデナク、ソレ以上ニ擴張ガ出來ル場所デアリマスカラ、ソレハ國立トシテ第二期計畫ノ方ガ、將來擴張スル時分ニハ致シタイト考ヘテ居リマス

○松山委員 是ハ先キノコトデアリマスカラ、今カラ其様ナコトハ何ンデアリマセウガ、療養ノ上カラ云ッテ、若シ將來一萬人ノ者ガ愛生園以外ノ處へ行クト云フコトニナレバ、例ヘバモット寒

ゴザイマスガ、弘法大師ヲ信仰シテ澤
山ノ癪患者ガ參リマス、警察モ取締ニ
困ツテ居ルヤウデゴザイマスガ、第一期
計畫ガ進メバ、サウ云フ者ニ對シテモ、
何處カヘ收容スルコトニナリマスカ、
サウ云フヤウナ具體的ナコトハ御考ニ
ナッテ居ラヌノデスカ

○赤木政府委員 只今御話ノ紀州方面
或ハ大阪方面ハ、今日モ尙ホ浮浪患者
ヲ認メマス、是ハ甚ダ遺憾ト致シテ居
リマスガ、ソレハ御承知ノ通り、大阪療
養所ガ色々問題ガアリマシテ、アノ移
轉問題ガ行惱ンデ居リマシテ、尙ホ實
現致シテ居リマセヌ、大阪ノ移轉擴張
ガ遲レテ居リマス爲ニ、アノ地方ニ患
者ガ浮浪シテ居ルノデアリマシテ、是
ハ第一期計畫ニ屬シマス大阪ノ擴張

モ、一切握手ナドヲサセナイト云フヤ
ウニ書イテアリマスガ、家ヘ歸レバ手
ヲ取合フト云フコトモアリマセウ、免
ニ角時々會ツテ、涙ヲ以テ別レテ行クト
云フヤウナ話モ聞イテ居ル、物貰ヒニ
ナルコトガ、病氣ノ癒ル弘法大師ニ對
スル一種ノ信仰ト云フヤウナ、一ツノ
行トシテ、サウ云フコトヲヤツテ居ル人
ガアルト云フコトモ聽イテ居ルノデア
リマス、私共郷里ニ歸ツテ、色々此問題
ニ付テ聞カレテ、説明スル上ノ都合モ
アルノデアリマスルカラ、大阪ノ療養
所ナルモノハ、現在ハドウ云フ状態ニ
アツテ、今御話ノ擴張ヲシヨウトシテ、
ドウ云フ點ニ惱ンデ居ルカ、サウ云フ
経過、順序ガ御分リニナレバ、御説明
願ヘルナラバ好都合ダト思ヒマス

スルノデ、ドウシテモ是ハ一日モ早ク
擴張ヲ致サナケレバナラナイト云フコ
トハ、當局ト致シマシテモ痛感致シテ
居ルノデアリマス、大阪府知事トモ其
點ニ付テ度々交渉ヲ致シマシテ、近ク
何トカ之ヲ解決スルト云フコトニナッ
テ居ルノデアリマス、結局適當ナ場所
ガ他ニ求メラル、ナラバ、現在ノ處ハ
場所トシテハ適當ナ場所トハ存ゼラレ
マセヌノデ、適當ナ他ノ宜シイ場所ヲ
求メタイト云フコトデ、方々物色致シ
テ居ルノデアリマスガ、今日マデノ所、
他ニ適當ナ場所ガ未ダ發見致サレマセ
スノデサウカト言ツテ、之ヲ放任致サセ
テ置ク譯ニハ參リマセヌカラ、或ハ已
ムヲ得ズ現在ノ場所ニ於テ之ヲ擴張ス

ル、是ガ爲ニハ場所ガ理想的デアリマセヌカラ色々設備ヲスルノニ、相當ニ經費モ餘計掛ル譯デアリマスルケレドモ、完全ナ設備ヲ致シマシテ、現在ノ場所デ擴張スルヨリ外已ムヲ得ナイコトニナラウカト存ジテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、目下知事ノ方デ計畫ヲ進メツ、アルノデアリマス、近ク解決ヲ見ルコト、存ジテ居リマス。

○松山委員 此點ヲ一つ御尋シテ見タイト思フノデアリマスルガ、斯ウ云フ問題ヲ醫者ニ任せ置クト、醫者ハ唯科學的方面ノミカラ考ヘテ、精神的方面ヲ輕視スルヤウナ傾ガアルヤウニ思フノデアリマス、ドウモ近頃ノ文明ガ、餘リニ我國ハ西洋文明ヲ急ニ取入レタガ爲ニ、昔カラノ長所、色々ナ精神的方面、多年培ツテ來タモノマデモ全部壞シテシマッテ、進ンダト云フヤウナ傾ガアル、ソレガ今行詰ツテ、色々ナ方面ニ破綻ヲ生ジテ來テ居ルヤウニ思フノデアリマス、是ハ日本ノ社會ヲ見ルニ付テノ根本的ナーツノ大問題デゴザイマスルガ、之ヲ經濟方面ニ見マシテモ「マルクス」ノ唯物史觀ノ思想ガ天下ヲ風靡シテ居ル、實ハ公娼廢止ノ委員會ノ方デモ、今度其問題ニ付テ當局ニ質問シテ見タイ、政府ノ人々ハ大ナル考違ヒヲシテ居ル點ガナイカト云フコトヲ、

考ヘテ居ルノデアリマスガ、兎モ角癩病ノ方面ニ於キマシテモ、他ノ委員ニモトニナラウカト存ジテ居ルノデアリマスガ、是ハ公娼廢止ノ方デモ質問シタイト思ヒマスガ、日本ノ歴史的ニリマスガ、弘法大師ヘ參ツテ安心ヲ得ヤウトスルヤウナ、信仰ノ方面、精神方面ノ慰安ヲ得ルト云フコトガ、此癲病ノヤウナ、モウ癒ラヌ病氣ニ罹ツテ、自暴自棄ニ陥ツテ居ル人々ハ、非常ニ大事ナコトデハナイカト思フ、此「ダミエン」ノ本ヲ讀ンデ見ルト「ダミエン」ハ物質的ニモ、大工ニナッテ一千ノ棺ヲ造リ、癲病ノ死者ヲ葬ツタカ、其外色々ナ事ニ於テ物質的ニ或ハ泉ヲ發見シテ水ヲ十分ニ使ヘルヤウニシタトカ、色々ナ事ヲヤツタ、ケレドモ一方ニ於テ彼ハ信仰ヲ與ヘテ、自暴自棄ニ陥ツテ居ル人々ノ精神的方面ハ考ヘナイ、醫者トシテノ研究ハ、漸次科學的ノ考方デ、人ノ書イテアルノデアリマス、醫者ハ總テ其精神的方面ハ考ヘナイ、醫者トシテ動物トシテ研究スルノデアリマシテ、其本能ノ行ク儘ト云フコトダケヲ研究スルト云フ所ニ、私ハ此公娼問題等ニ對スル政府ノ考ノハツキリ定マラヌ所モ、其處等ニアルト云フコトヲ、先日

カラ痛切ニ感ジテ、此點ニ付テ少シクスガ、此癲病ノ豫防ノヤウナコトモ、一ツハ他ノ國民ニ傳染セシメナイ、一ツハ隔離セラレル人ハ、悉ク精神的ニ打擊ヲ受ケテ、一旦入レバ出テ來ラレナイ、浮世ヲモウ見ラレナイ或ル意味ニ於テ生キタ屍ニナルノデアリマス、サウ云フヤウナ人々ニ希望ヲ與ヘ、慰安ヲ與ヘ、其人ノ生活ヲ成ベク幸福ニスルト云フコトモ考ヘナケレバナラヌノデアリマスガ、サウ云フ方面ニ付テ當局ハ考ヘラレタ事ガアリマスカ、當局ノ御意見ヲ承ツテ見タイト思ヒマス。○赤木政府委員 只今ノ御話ハ至極御尤ノ事デアルト存ズルノデアリマス、癲ノ療養所ノ官吏ガ、他ノ病院ト違ヒ備ヘ、サウシテ患者ヲシテ是等ノ信仰ニ生キルヤウニシタトイ云フ設備ヲ整ヘテ居ルノデアリマス、又宗教家ガ隨時此療養所等ト聯絡ヲ取ツテ、患者ノ慰安ニ努メテ貰フト云フヤウナコトニモ努メテ居ルノデアリマス、唯所謂物質的ニ、唯物史觀的ニ患者ヲ取扱フト云フコトハ、適當デナイト考ヘテ居リマス、療養所ノ當局モ、其點ハ特ニ注意致シマシテヤツテ居ル次第デアリマス、ドウシテモサウ致シマセヌケレバ、斯ウ云フ病氣ニ罹リマシタ者ヲ多數、數百人或ハ千人以上ノ人ヲ適當ニ統御シテ行クコトハ、非常ニ困難ナコトデアルノデアリマス、全ク御話ノヤウナアルノデアリマス、心持デ當局モ是等ニ對シテ居ル次第デアリマス。

○松山委員 最前病氣ノ性質ヲ話シテ戴イタ時ニ、一ツ私ハ聽洩シタコトガア

リマスガ、醫者ノ方カラ見テ癩ニ罹ッタ
人ハ全快スルト云フ見込ハナイノデア
リマスカ、其人一代ダケハ一生隔離シテ
置カネバナラヌモノカ、或ハ或ル程度
マデ治療スレバ、輕イ者ハ癪ルヤウナ
見込ノアルモノデアリマスカ、其邊ヲ
一ツ伺ヒタイト思ヒマス、ソレカラ第
二期計畫ガ若シ完全ニ出來タナラバ、
突發的ニ起ツテ來ルノハアリマセウガ、
日本ノ國ハ大體ドレ位ノ年限デ癩ノ撲
滅ガ出來マセウカ、其御見込ガアルナ
ラ聽カシテ戴キタイト思ヒマス、ソレ
カラ先程外國ノコトヲ申シマシタガ、
確實ナコトデハアリマセヌガ、伊太利
ハ十六七年デ撲滅シテシマッタト云フ
コトデアルガ、サウ云フ外國ノ例ガア
ルナラバ、事業ノ全局ヲ見ル上ニ、サ
ウ云フ御調ニナッタコトガアルナラバ、
御知ラセヨ願ヒタイト思ヒマス、ソレ
カラドウ云フ書物ヲ見レバ斯ウ云フコ
トヲ書イテアルカ、教ヘテ下サルカ、
或ハ印刷物ガアレバ配付シテ載キタイ
ト思ヒマス

英吉利本國ノ如キハ、今日全然ナイサ
ウデアリマス、佛蘭西、獨逸、或ハ丁
抹、白耳義、墺地利、「チエッコスロバ
キヤ」是等ノ國ニ於キマシテモ、極メ
テ少數シカナイノデアリマス、尤モ伊
太利トカ、西班牙、葡萄牙、土耳其、
波蘭、斯ウ云フ國ニ行クト、今以テ少
數ノ患者ガ居リマスガ、大體ニ於テ所
謂文明國ニ於テハ、今日殆ド癩患者ハ
ナクナツテ居ル、居テモ極メテ少イト云
フ狀況ニナツテ居ルノデアリマス、併シ
是等ノ國ニ癩患者ガ初メカラナイカト
云フト、サウデハナク、色々昔ノ書物
ニ依リマスト、英吉利ノ本國デモ、十
二三世紀頃ニハ非常ニ澤山ノ癩患者ガ
居ツタト書カレテ居リマス、倫敦ノ郊外
ニハ常ニ多數ノ患者ガ塊ツテ居ル、サウ
シテ一般民衆ニ哀レヲ求メテ居ツタト
云フヤウナコトガ記述ニ残ツテ居リマ
ス、ソレ等カラ見テモ、相當ノ數ガアッ
タコトガ分ルノデアリマスガ、其他佛
蘭西ニシテモ、獨逸ニシテモ、十五世
紀頃ニハ多クノ患者ガ居ツタト云フコ
トデアリマスカラ、是等ノ諸國ガ今日
癩患者ガ殆ドナクナツタ、若クハアッテ
モ極メテ少數ダト云フコトニナリマシ
タノニハドウ云フ方法ヲ執タカト申
シマスト、是ハ總テ隔離法ヲ厲行致シ
タノデアリマス、其爲ニ今日ハ殆ド癩
患者ノ姿ヲ見出スコトガ出來ナイト云

ノ結果ヲ來シタノデアリマス、隔離法ヲ厲行致シマシタ結果、著シク癩患者ガ減少致シマシタ、最近ノ適切ナ例トシテ諸威デアリマス、癩菌ヲ發見シタノ威ノ「ハンゼン」ト云フ人ノ發表ニ依リマスト、千八百五十六年頃マデハ、癩病ガ盛ニ諸威ニアツサウデアリマスガ、其當時ノ調査ニ依リマスト、諸威ニ二千八百三十三人ノ患者ガ居ツタ、人口千人ニ對シテ一・九一人、約二人ノ割合デアツタト云フコトニナッテ居リマス、所ガ其後隔離法ヲ厲行致シマシタ結果、千九百十九年、即チ約六十五年後ニハ、患者ノ數ガ百八十名ニ減少シタノデアリマス、即チ人口千人ニ對スル患者ノ率ハ〇・〇三人ノ割合ニ減少シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ譯アル、外國デ癩ノナクナリ、若クハ非常ニ減少シタノハ、總テ全部ヲ隔離シ收容スルト云フ政策ヲ執リマシタ結果デアルコトハ、事實ガ物語ッテ居リマス、是等ノ癩ニ關スル歴史トカ、世界ノ各國ノ癩ノコトヲ記述シマシタ書物ハ、南米ノ「アラウジヨー」ト云フ學者ノ書イタ可ナリ大部ナ本デアリマスカ……○松山委員 英語デ出來テ居リマスカ
○赤木政府委員 英語デ出來テ居リマス、其書物ニ各國ノ歴史等ヲ詳細ニ記述シテ居リマス、日本ノコトナドモ書イテ居リマス、ソレカラ癩ハドレ位ノ

年數ガ掛ツタラ撲滅出來ルカト云フ御者尋ニ對シテハ、實ハ最近私共ノ手許ニ於キマシテ、大臣ノ御話ガアリマシテドレ位ノ年數ヲ掛ケタラ撲滅出來ルカ計畫ヲ立て、見ヨト云フコトデ、實ハ「ラブ」ナ案デアリマスガ、立テタコト離ト云フコトガ唯一根本ノ撲滅方法デアリマスノデ、隔離設備ヲドレ位スルカニ歸スルノデアリマス、言換ヘレバ經費ヲドレ位掛ケルカニ歸スルノデアリマシテ、相當多額ノ經費ヲ掛ケルナラバ、極メテ短イ年數ニ於テ撲滅スルコトガ出來ル、唯金ノ掛ケ方ガ少イト、社會ニ澤山ノ患者ガ居ツテハ、是ノ撲滅ガ困難ナノデアリマスガ、其金ト申シテモ實ハ大シタ金デハナイノデアリマスガ、大體隔離ヲ完全ニスルナラバ、隔離設備ノ完成後、約十箇年ヲ經過スレバ、大體ニ於テ先づ減少スルモノト見テ宜カラウト思フノデアリマス、先刻癩ハ之ヲ全治セシムルコトガ出來ルカドウカト云フ御質問モアリマス、大風子油ヲ用ヒマシテ、或ル程度マデ之ヲ治療シ、或ル程度マデ病氣ノ進行ヲ止メルコトガ出來ルサウデアリ

マシテ、病氣ノ輕イ内ナラバ、是デ以テ
輕快ニ赴イテ、或ハ癲菌ガ出ナイヤウ
ニナリマシテ、之ヲ療養所カラ出シテ
モ差支ナイ程度マデニナルサウデアリ
マスガ、唯現在療養所ニ入ッテ居リマ
スヤウナ者ハ、多クハ病氣ノ重イ所ノ
者ガ入リマスルノデ、中々其處マデニ
參テスヤウデアリマスガ、大體ニ於キ
マシテ、癲患者ハ平均致シマシテ、十
箇年位ノ壽命シカ保タナイモノノヤウ
デアリマス、尤モ病氣ノ重イ輕イニ依
リマシテ、モット長ク生キル者モアリマ
スルケレドモ、平均十箇年位デアリマ
スルカラ、收容設備完成後約十箇年ヲ
經ルナラバ、先づ大體ニ於テ撲滅ヲ圖
ルコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナル
ノデアリマス、ソコデ收容設備ヲ何箇
年間ニ完成スルカト云フコトガ問題ニ
ナルノデアリマシテ、若シ今後十箇年
間ニアトノ約一萬人ノ收容ガ出來マス
ルナラバ、今後二十箇年間デ撲滅スル
コトガ出來ル、若シ收容設備ヲ二十箇
年間掛ケテ致シマスルナラバ、三十箇年
間デ撲滅スルコトガ出來ル、或ハ金ノ
都合デ一萬人收容ガ出來マセヌデ、今
後五千人位ノ收容設備シカ出來ナイ、
差當リ合計一萬人ノ收容シカ出來ナ
イ、五千人ハ先づ自然減少ニ待ツト云
フヤウナコトニナリマスルナラバ、五
十箇年間ヲ要スルコトニナルノデアリ

マス、ソレナラバ收容設備ニドレ位ノ
金ガ要ルカ、斯ウ云フ計算ヲシテ見マ
スルト云フト、今後十箇年間ニ收容設
備ヲ完成致シマシテ、アト十箇年間ニ
一萬人ヲ療養所ニ收容スルスウ云フコ
トニ致シマスルナラバ、詰リ二十箇年
間ニ要スル金ガ約三千七百萬圓ト云フ
計算ニナリマス

○松山委員 第一期ニ十年、第二期ニ
二十年掛カルト云フ意味デスカ
○赤木政府委員 第一期計畫ハ五千人
是ハ全ク別ニ致シテ置キマシテ、其後
ノ一萬人收容ノ設備ニ付テノ事ヲ申上
ゲテ居ルノデアリマス、ソレヲ十箇年
掛ケテ設備ヲ完成致シマシテ、アト十箇
年間ハ其處デ收容シテ置ク、斯ウ云フ
コトニ致シマスレバ、二十箇年間デ大
體無クナリマス、之ニ要スル經費ガ約
三千七百萬圓ト云フコトニナルノデア
リマス、ソレカラ此收容設備ヲ十箇年
間ニ致スト云フコトニナリマスルト、
アリマス

○松山委員 色々丁寧ニ御説明ヲ戴キ
マス、初メノ間ハサウ云フ金が出マセ
スカラ、少シズ、ヤルト云フコトニナ
リマシテ、假ニ二萬人ヲ二十箇年間掛
テ收容スルト致シマスト、三十箇年間
デ無クスルコトガ出來ルト云フ計畫ニ
ナルノデアリマスガ、之ニ依リマスト
ス、三十箇年間ニ四千萬圓デアリマス、
ヲ願ヒタイト思ヒマス

○赤木政府委員 豫防協會ハ濛澤子爵
出来マセヌカラ、財政ノ都合デ、今後
ガ非常ニ熱心ニ唱道致サレマシテ、此
懶ハ所謂傳染病デアルカ、力ヲ盡スナラ
トニ致シマスルナラバ、アト十箇年間ニ
備ヲ致シマス、サウスルト全部デ一
萬人ヲ療養所ニ收容スルスウ云フコ
トニ要スル金ガ約三千七百萬圓ト云フ
計算ニナリマス

○赤木政府委員 第一期計畫ハ六千六百萬
リマスト、五十箇年間ニ六千六百萬
ノ一萬人收容ノ設備ニ付テノ事ヲ申上
ゲテ居ルノデアリマス、ソレヲ十箇年
掛ケテ設備ヲ完成致シマシテ、アト十箇
年間ハ其處デ收容シテ置ク、斯ウ云フ
コトニ致シマスレバ、二十箇年間デ大
體無クナリマス、之ニ要スル經費ガ約
三千七百萬圓ト云フコトニナルノデア
リマス、ソレカラ此收容設備ヲ十箇年
間ニ致スト云フコトニナリマスルト、
アリマス

○松山委員 色々丁寧ニ御説明ヲ戴キ
マシテ、大體分リマシテ私ハ非常ニ幸
ニ思ヒマス、サウスルト今濛澤サンカ
ニヤツテ居ル懶豫防協會ハ、全體ノ撲滅
防協會ノ獨力ヲ以テ絶滅ヲ圖ルコトハ
困難ナコト、思ハナケレバナラヌノデ
アリマス、ドウシテモ國家ノ力ヲ以テ
スルニアラザレバ、今日ノ所は實現
ハ容易デナイト思ヒマスルガ、豫防協
會ト致シマシテハ、懶ハ撲滅シナケレ
バナラスト云フ國民的輿論ヲ作ルコト
ガ、主ナル目的デアリマシテ、又同時ニ
國ガ斯ウ云フ設備ヲ致シマシテモ、國
ガ施設スルニ適シナイヤウナ色々雜多
な事業ガアルノデアリマス、ソレ等ノ
事業ヲ協會ノ仕事ト致シマスルナラ

バ、同時ニ此國ノ仕事ヲ進メテ行ク上ニ於テモ、色々便宜ガゴザイマスルノデ、國ノ設備、國ノ之ニ對スル方策ト相俟ッテ之ヲ助ケテ癩ノ絶滅ヲ期シタイ、斯ウ云フ趣旨デアルノデアリマス、勿論豫防協會ノ目的ト致シ、目標ト致シテ居リマスル所ハ、日本カラ癩病ヲ全然無クスル、斯ウ云フコトヲ目標ト致シテ居ルノデアリマス、唯協會ノ獨力デ以テ、ソレガ出來ルカト申セバ是ハ困難ナコト考ヘナケレバナラヌノデアリマスルガ、協會ガ其目的ヲ以チマシテ、一面ニ於テハ國民ノ自覺ヲ促シ、又一面ニ於テハ國ノ施設ヲ促進スルヤウニ力ヲ盡ス、又協會自身ノ力ニ於キ設立致サレマシタ次第デアリマス

○松山委員 是デ終リデゴザイマス

○永田委員 條項ニ入リマスルガ、第八條ノ「國庫ハ前條道府縣ノ支出ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ六分ノ一乃至二分ノ一ヲ補助スルモノトス」是ガ先刻御説明ニナツタ件デアリマスルガ、即チ二分ノ一ガ創設ノ場合デアル、六分ノ一ガ經常費デアルト了解シテ宜シイ

○赤木政府委員 サウデゴザイマス

○永田委員 然ラバ各府縣ニ於テ從來ノ療養所ヲ擴張スルニ付キマシテハ、

常費ニ於テモ、ヤハリ從來通り六分ノ一常費ニ於テモ、ヤハリ從來通り六分ノ一

期擴張デアリマスガ、ソレノ完成及ビシテ居ルノデアリマス、是ガ擴張ヲナ

持ツテ居ルノデアリマス、是ガ擴張ヲナ

セレマスニハ、斯ウ云フ財界不況ノ際ニ於キマシテハ、非常ナル困難ガ伴フ

ト云フコトハ豫想セラレルノデアリマス、ソレデ私ハ此點モヤハリ——寄生蟲ノ豫防法ニ於キマシテハ、六分ノ一ト云フ修正案ヲ戴キ

スガ、本案モ同様ニ之ヲ修正ヲシナイ

ト云フト、非常ニ地方ハ困ルト思ッテ居リマスカラ、此點ニ付キマシテ、一應當局ノ御意向ヲ承ツテ置キタイトと思ヒ

○赤木政府委員 九州ノ療養所モ、先刻來申シマシタヤウニ、第一期擴張ノ完成ヲ致シマスルマデハ、此補助デ行クト云フコトニナルノデアリマシテ、殊ノ地方ハ、非常ナル負擔ノ過重ニ依

シテモ、衛生ニ關スル各種ノ法令ニ於キマシテ、所謂創設費二分ノ一、經常費六分ノ一ト云フノガ、是ハ從來カラ

シテ、此率ヲ變ヘルト云フコトハ、當局トシテハ實行ガ困難デアラウト思ヒ

○永田委員 私ハ是ハ無論最初カラ非

同様ナ苦ミヲ味ハナケレバナラヌ、是

ハ當局ハ氣候ノ關係デ、暖カイ地方ガ多イ、又養生ヌルニモ暖カイ地方ガ宜

イト申サレマシタガ、以上ノ理由カラ九州療養所ノ擴張ニ付キマシテハ、非

常ニアノ地方ハ困難ニ陥ルコトヲ豫想

サレマスカラ、其點ヲ深ク御考慮ノ上、或ハ大決心ヲ起シマシテ、彼ノ地方ニ

全部國庫支辨ノ國立ノ療養所ヲ造ルコトハ、最モ適當ト思フノデアリマス、

或ハサウ云フ方法ヲ以テ緩和スルノ見込ガアレバ、私ハ敢テ抗辯ハ致シマセヌケレドモ、左モナクバ此條項ハ此際修正ヲ最モ必要ト存ズルノデアリマ
ス

○赤木政府委員 是ハ確ニ御約束ヲ申上ゲル譯ニ參リマセヌガ、先刻來申シマシタヤウニ、第一期擴張完成ノ以外ニ屬シマスル分ハ、漸次國ノ財政ノ緩急ヲ見計ヒマシテ、國立ノ療養所ヲ創設若クハ擴張ヲ致シテ行クト云フ計畫ヲ持ツテ居リマスルノデ、財政ノ都合ガ付クコトニナリマスレバ、或ハ御希望ニ副フヤウナコトガ出來ルカト存ジマス

○松山委員 今年ノ豫算ニハ癩ニ關シテドレダケノ事項ト、サウシテ金額ガ見積ラレテアリマスカ、實ハ豫算ヲマダ其點ニ於テ見テ居ラナイノデアリマスカ、ソレヲ一寸御示シヲ願ヒタイ、ソレカラ第二期計畫ハ、何時カラ着手スル積リデアルカ、財政計畫ノ中ニ入ッテ居ルカ、又入ッテ居ラナイカ、其事ヲ一ツ御尋ヲ致シタイ、モウ一ツ、若シ御醫者ノ方ガ居ラレルナラバ伺ヒタイ、ソレハ世間デハアレハ癩病筋ダ、筋ガ惡イト云フヤウニ、多ク眉毛ガ濃イトカ薄イトカデ、通常判断スルヤウデアル、モウ一ツハ、皮膚ノ色ト云フコトニナツテ居リマスルガ、是ハドウ云

フ關係ガアルカ、誰カ其事ニ付テ研究シタ人ガアリマスルカ、癩病デモ何デ
モナイノニ眉毛ガ薄イ、アノ筋ハ怪シト云フヤウニ言ハレマスガ、サウ云
フコトニ付テ何カ研究シタコトガアリマスカ、若シアリマシタラ御示ヲ願ヒ
マス

〔委員長退席、中崎理事著席〕

○赤木政府委員 癩ニ關スル豫算ノヨ
トデアリマスガ、昭和六年度ニ於テハ
癩豫防費補助、即チ道府縣ノ療養所經
常費、或ハ私設療養所ノ補助、及道府
縣ノ豫防費ノ補助、療養所建設費ノ補
助等ヲ合セマシテ、癩豫防費補助ガ六
四圓ト云フコトニナツテ居リマス、ソレ
カラ昭和六年度ノ國立療養所ノ經常費
豫算ガ十五萬八千五百九十一圓、ソレ
カラ草津ノ療養所費ノ一部分デアリマ
スルガ、是ガ十二萬圓、ソレカラ癩豫
防協會ニ對シマスル補助五萬圓、是ダ
ケガ昭和六年度ノ國ノ豫算ニ計上致サ
ス、ソレカラ第二期ノ一部分ハ、草津
ノ十二萬圓ト云フノガ、第二期ノ一部
分ニナル譯デアリマス

○松山委員 ソレハ經常費デ相當ノ設備ハ出來テ居ルノデスカ
園ハ過去四年前カラ著手致シマシテ、本年完成致シマシタガ、四百人ノ收容設備ヲ完成シテ、實ハ此本年ノ一月カラ患者ヲ收容スル豫定デアリマシタノデスガ、色々ノ準備ノ都合デ、只今ノ所患者ノ收容ヲ致シテ居リマセヌ、今月カラ收容致ス都合ニナツテ居リマシテ、今月ノ中ニハ百人カ百五十人收容スルコトニナツテ居リマス、來年ニナリマシテ四百人全部收容スルコトニナツテ居リマス、此收容ニ關スル經費ハ十五萬幾ラデアリマス
○松山委員 後ノ一萬人ノ第二期ノ方ハ、マダチットモ掛ツテ居ラヌノデスカ
○赤木政府委員 草津ダケハ掛ツテ居リマス
○高野内務技師 今ノ眉毛ガ薄クナルト云フコトデアリマスガ、全ク其通りデアリマシテ、癩病ガ發病致シマシタ時ニ、最モ早期ニ目立チマスル症狀トシテ、眉毛ノ脱毛ヲ起シマス、ソレハ癩病菌ガ、ドウ云フ譯ニアリマスカ、人ノ顔面ヲ侵スコトヲ最モ好ム菌デアリマシテ、顔ノ方ニ分布シテ居リマスル神經ヲ癩菌ガ好ンデ侵シマス、隨ヒマシテ、眉毛、アノ邊ノ皮膚ノ榮養ヲ失テ居リマスル神經ヲ侵スモノト見

エマシテ、眉毛ノ榮養ガ衰ヘテ、是ガ落チルト云フコトニナル譯デアリマス、ソレカラ顔ノ艶ガ變リマスノモ、此癩菌ガ専ラ皮膚ノ淺イ所ヲ侵シマシテ、醫學ノ言葉デ申シマスルト、皮膚ニ侵潤ヲ來スト云フ言葉ヲ使ヒマス、皮膚ノ細胞ノ集積ト申シマセウカ、或ハソコニ餘分ノ細胞ヤ脂肪ガ溜ツテ參リマス、ソコデ普通ノ皮膚ヨリモビント張ツテ參リマシテ、皺ガナクナリマス、少シ堅クナリ過ギル結果、艶ガ特ニ目立ツテ見エマス、ノミナラズ大抵ソニ知覺神經ノ麻痺、運動神經ノ麻痺等ガ起リマスカラ、總テ皮膚ニ分布シテ居リマスル神經ノ障碍ガ主ナル症狀デアリマス、ソコデ額ノ邊デアリマスルト、顔貌ノ症狀ガ極メテ乏シクナリマス、或ハ顔面神經ト云フモノガ、コチラカラ來テ居リマスガ、其運動ガ不十分ニナリマシテ、右左ノ均衡ガ取レナクナツタヤウナ顔ニモナリマス、サウ云フ所カラ面貌ニ普通ト異ツタ症狀ガ現ハレマス、或ハ顔付ガ違ヒ、顔ノ艶ガ違フコトニナルカト存ジマスガ違ヒデス

外ノ黴菌ト比較シテ申上ゲルノガ宜イ
ト存ジマスガ、肺病ノ黴菌、結核菌ト
極ク近イモノト御考ヲ顧ヘバ宜イト思
ヒマス、唯肺病ノ黴菌デゴザイマスレ
バ、肺臟其他淋巴腺ト云フヤウナ所ヘ
行キマスノニ、此菌ハ皮膚ノ組織ノ中
或ハ神經ノ中ニ主トシテ食込ム、其好
ム場所ガ違フダケデゴザイマス、黴菌
ノ形、大キサ等ハ、結核菌ト略同ジコ
トデアリマシテ、之ヲ區別スルコトガ
寧ロ困難ナヤウナ有様デアリマス、唯
著シク違ヒマスノハ、癩病ノ黴菌ハ、
人間以外ノ動物ニハ感染致シマセヌ、
結核菌デゴザイマスレバ「モルモット」
デアリマストカ、外ノ動物ニ付キマス
ガ、癩菌ハドウモソレガ出來マセヌ、
ソレカラ人工培養ガ未ダ出來マセヌ、
最近學者ノ研究ニ依リマシテ、癩菌ヲ
人工培養ヲシ得タト稱スル報告モゴザ
イマスガ、是ハ未ダ確證ヲ得テ居ラヌ
ノデゴザイマス、或ハ何等カノ過失ガ
ナイトモ言切レナイヤウデアリマス、
隨ヒマシテ癩ノ研究ハ甚ダ困難デアリ
マス、癩ノ研究ヲ致シマスニハ、ドウ
シテモ癩病患者ノ體カラ直接取リマシ
タ癩菌ヲ取扱フ外ニハ途ガナイノデア
リマス

○松山委員 有難ウゴザイマシタ、モ
ウ終リマシタ

○中崎委員長代理 永田君、ドウデス

カ、何カアリマスカ——永田君
○永田委員 先程松山サンノ御意見ノ
通り、私ノ地方デモ癩病ノ爲ニ非常ニ
惱シテ居ルノデアリマスガ、國家ノ體
面ノ上カラ考ヘテモ一日モ早ク、尙又
國民保健ノ上トカ、或ハ能率ノ増進ノ
上カラ考ヘテモ、重大ナル問題ト思ッテ
居ルノデアリマス、之ヲ撲滅セラレル
ト云フ此案ノ趣旨ニハ、當初カラ私ハ
賛成シテ居ルノデアリマス、先程アナタ
案ニケチヲ付ケルトカ、反對スルトカ
云フ譯デハアリマセスケレドモ、ヤハ
リ経費ノ關係カラ、私ノ地方ノ如ク特
ニ患者ノ多イ處ハ、地方デ財政ノ上ニ
非常ナ困難ガ伴ヒマスカラ、本案モヤ
ハリ寄生蟲豫防法ト同ジク、三分ノ一
ニ補助ノ率ヲ修正シタイト希望シテ居
ルノデアリマス、是ハ少數意見デアッテ
モ構ヒマセヌカラ、修正ノ動議ヲ提出
シタイト思フノデアリマスガ

〔中崎理事退席、委員長著席〕
此修正理由ハ本會議デ述べヤウト
思テ居リマス
○中馬委員長 サウスルトモウ御質問
ノ方ハアリマセヌカ、質問ヲ打切ッテ宜
シウゴザイマスカ

○松山委員 能ク癩病ハ潜伏期ガ五十
年アルト云フコトヲ言ヒマスガ、サウ
云フヤウナコトガアルノデアリマスカ
○高野内務技師 癩ノ潜伏期ハ非常ニ

長イコトハ事實デアリマスガ、只今ノ
五十年ト云フノハ、餘程非常ナ例外ノ
コトデアリマセウト思ヒマス、ソレガ
ナイト云フ事ハ申兼ネマスガ、サウス
居ルノデアリマス、之ヲ撲滅セラレル
トニナツテシマヒマス、デスカラ普通ハ
二十歳前後デ發病致シマスガ、恐ラク
レバ五十年以下ノ患者ハナイト云フコ
ト云フ此案ノ趣旨ニハ、當初カラ私ハ
賛成シテ居ルノデアリマス、先程アナタ
案ニケチヲ付ケルトカ、反對スルトカ
云フ譯デハアリマセスケレドモ、ヤハ
リ経費ノ關係カラ、私ノ地方ノ如ク特
ニ患者ノ多イ處ハ、地方デ財政ノ上ニ
非常ナ困難ガ伴ヒマスカラ、本案モヤ
ハリ寄生蟲豫防法ト同ジク、三分ノ一
ニ補助ノ率ヲ修正シタイト希望シテ居
ルノデアリマス、是ハ少數意見デアッテ
モ構ヒマセヌカラ、修正ノ動議ヲ提出
シタイト思フノデアリマスガ

○松山委員 分リマシタ、有難ウゴザ
イマシタ
○中馬委員長 ソレデハ是デ質問ヲ打
切リマス、討論ヲ許シマス
○永田委員 ソレデハ八條ノ一番末尾
ノ「六分ノ一乃至二分ノ一ノ補助スル
モノトス」之ヲ「三分ノ一乃至二分ノ
一」ニ修正ヲ致シタインデアリマス、
意見ハ本會議ニ保留致シテ置キタイト
思ヒマス

○中馬委員長 多數——多數ニ依リマ
シテ、癩豫防法中改正法律案ハ原案通
リ可決致シマシタ——ソレデハ是デ此
二案ノ委員會ヲ終リマス、皆サン御苦
勞デシタ
午後零時十二分散會

昭和六年三月六日印刷

昭和六年三月七日發行

衆議院事務局

印刷者

常磐印刷株式會社